

感染性胃腸炎の流行について

本日配付のほけんだよりでもお知らせしましたが、学校では現在、感染性胃腸炎と思われる症状（腹痛・嘔吐・下痢・発熱等）で欠席する児童が増えています。

病院での受診者増加を受け、本日の夕方、岩内保健所より感染拡大防止の指導がありました。これまでも新型コロナウイルス対策のために消毒作業等を続けてきましたが、当面の間は全校児童の上靴の裏側の消毒等、消毒範囲を広げて感染症対策を行っていきます。

今後、お子さまに腹痛や嘔吐、下痢などの症状がある場合は無理せず学校をお休みさせてください。万が一、学校での上記の症状がみられた時には、本人の具合や校内の流行状況もふまえ、お迎えなど早退の対応をお願いすることがありますのでご承知おきください。